

令和8年度 Ability+（水） 年間カリキュラム

【ねらい】				
① 社会性の向上。 ② 社会的な生活スキルの向上。 ③ コミュニケーション能力の向上(挨拶・礼儀・マナー)。				
【支援方針】				
① 社会貢献できるような場を設け、やりがいを感じてもらえるように支援する。 ② 共感や共有など他者理解が深まるよう、話し合いの場を通してソーシャルスキルトレーニング（SST）を行う。 ③ 職員主導から児童主導へと活動を進めていけるよう、どう行動すればよいかをサポートする。				
月	活動内容	目的とねらい	身につけて欲しい力 (5領域)	予想される事・注意点 (前年度の課題と今年度の改善点)
4月	オリエンテーション 仲を深めよう	●今後の活動に対して見通しをもつ。 ●今後一緒に活動する仲間との親睦を深め、意見交換しやすい環境を作る。 ●他者への意識を持ち、協調性を培う。	【健康・生活】 ・身体の基盤を整える。 ・基本的な生活スキルの獲得。	●進学・進級によって学校生活の疲れやストレスを感じ、活動への集中が難しい。 ⇒体調面や情緒面に配慮しながら活動を進め、必要に応じて個別の時間を設ける。 ●初対面の相手との関わり方が難しい児童もいるため、コミュニケーションゲームを取り入れ関係性を築いていけるようにする。
5月				
6月				
7月	地域と関わりを持つ (しんぐうマルシェや正運寺祭りへの出店) 地域貢献しよう (ボランティア活動)	●地域行事に参加し、地域と交流を図るとともに、地域課題を見つける。 ●支出・収入を検討しながら出店などの計画を立てる。 ●地域の課題と向き合うとともに地域の方々との交流を深める。 ●「誰かのために」を念頭に置いた企画を立案・実行する。	【運動・感覚】 ・姿勢保持。 ・粗大運動と微細運動の促進と使い方を学ぶ。 ・保有する感覚の活用。 ・感覚特性への対応。 【認知・行動】 ・五感の感覚や認知の活用。 ・知覚から行動への認知過程の発達と向上。 ・概念の形成(数、大小、色など)。 ・場に適した行動ができるようになる。 【言語・コミュニケーション】 ・言語の形成と活用。 ・受容言語と表出言語の増加。 ・人との相互作用によるコミュニケーション能力の向上。 ・コミュニケーションツールの開拓(指差し、身振り、PECS、サイン、音声、文字等)。 ・読み書き能力の向上。 【人間関係・社会性】 ・アタッチメント(愛着行動)の形成。 ・模倣行動の獲得。 ・感覚運動遊びから象徴遊びへの移行。 ・一人遊びから協同遊びへの移行。 ・自己理解とコントロールができるようになる。 ・集団への参加。	●地域に目を向けた活動という初めての挑戦に抵抗と難しさを感じる。 ⇒地域と関わることの必要性を認識してもらい、企画前に地域行事に参加してもらい、初挑戦に対する抵抗を軽減する。 ●長期休暇中で学校の宿題や用事があることで活動への意欲の低下が見られる。 ⇒責任感を持って取り組むことができるよう、目的やそれぞれの役割を明確化する。 ●地域貢献についてイメージが難しく参加意欲が低下する。 ⇒地域貢献の実施例を調べ学習として取り組んでもらったり、職員からも提案しイメージを持てるようにする。
8月				
9月				
10月				
11月				
12月				
1月				
2月	活動のまとめ・報告をしよう	●今年度の活動内容を振り返る。 ●他者と協力して資料を作成する。 ●人前で発表をする。		●人前での発表に意欲が低下する。 ⇒新しい取り組みをいくつも成功させてきたという自己肯定感を高め、自信をもって発表できるようサポートする。
3月	卒業旅行に出かけよう	●1年間協力して取り組んできた仲間と互いを称え合い、思い出を作る。		●やりたいこと、行きたい場所の意見が多くてでることで意見がまとまりにくい。 ⇒意見を述べる前に、金銭面や時間など何について伝えたいか整理して相手に伝えられるようサポートする。